

橋下 徹 大阪市長 様

「大阪南港野鳥園の将来の運営について心配でオーストラリアから手紙を出しています。」

「シギ・チドリ類ネットワークサイトとして、大阪南港野鳥園はここオーストラリアでも知られていて、私どもは、このような地域が日豪渡り鳥条約によって保護されるものだと思っていました。」

「大阪南港野鳥園に毎年 10 万人以上の人を訪れるということは、大阪南港野鳥園はフライウェイのシギ・チドリ類のサイトの中でも、もっとも多くの人を訪れる場所の一つで、シギ・チドリ類のことやその壮大な渡りについて継続的な教育をすることができます。」

「オーストラリアで標識を付けられたシギ・チドリ類が、大阪南港野鳥園で観察されていることは素晴らしいことで、このような素晴らしい野鳥を守るための努力において、オーストラリアと日本がつながっていることの反映だと考えます。」

「ご承知のように、渡り性のシギ・チドリ類の個体数は減少を示しており、そのため、彼らの生息地の保全や、シギ・チドリ類の保護についての市民教育が、ますます重要になっています。」

「私たちは、現在、大阪南港野鳥園で行われている、管理、保護、そして教育活動を促進していただけることを願っています。」

敬具

- BirdLife Australia (オーストラリア政府のシギ・チドリモニタリング事業の事務局)
- Australasian Wader Study Group (BirdLife Australia の会員で、権威あるシギ・チドリの研究団体)
- University of Queensland (オーストラリア全域のシギ・チドリの個体数変動の解析を実施)
- BirdLife Western Australia (BirdLife Australia の支部の一つ)